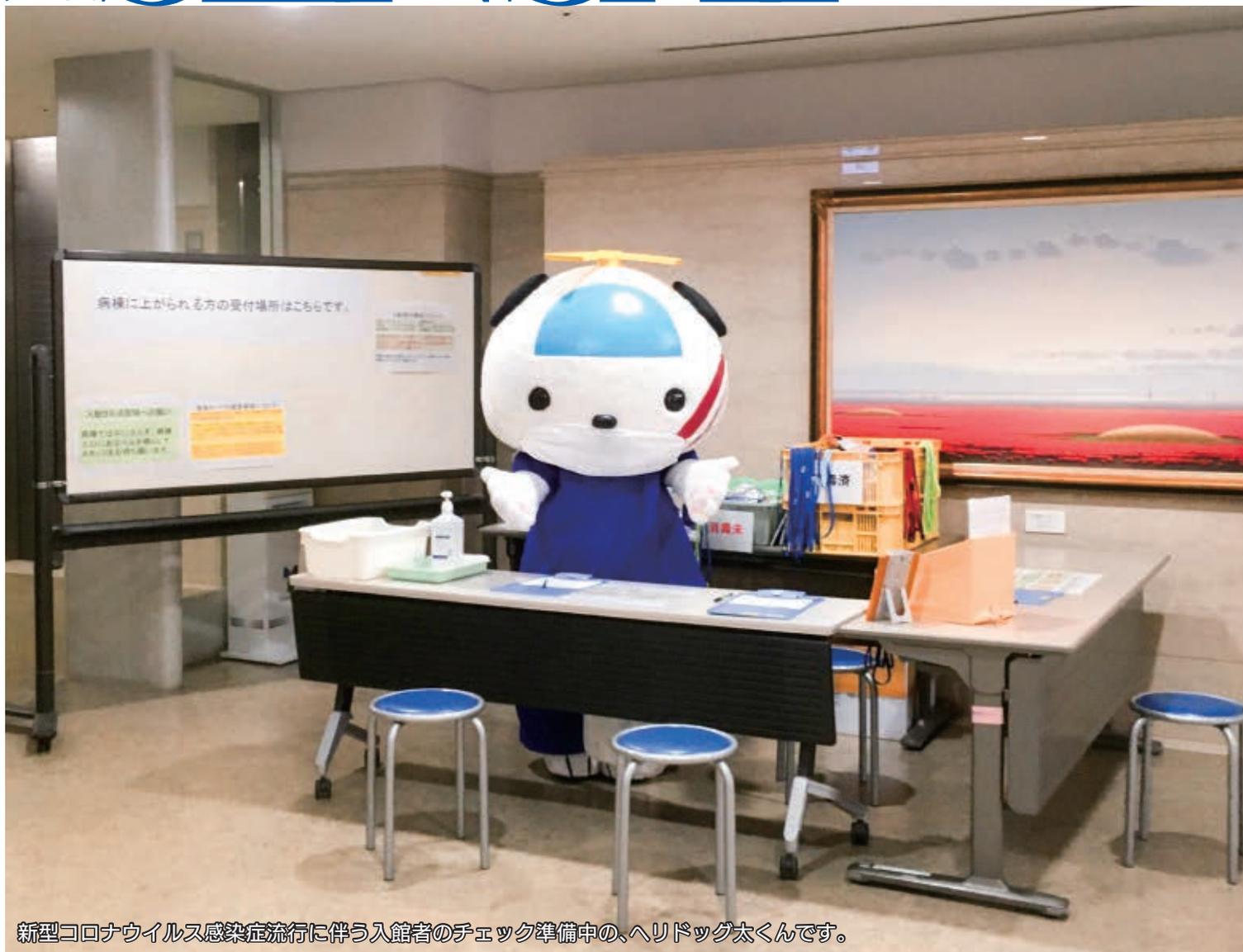


専齋 SENSAI



新型コロナウイルス感染症流行に伴う入館者のチェック準備中の、ヘリドッグ太くんです。

診療科紹介 update

Vol.6 小児科

最新医療紹介

糖尿病女性のプレコンセプションケアの重要性

明日を担う Vol.10

・吉永 龍史(理学療法士)

TOPICS

・2020年度 JNPの概要と活動状況

雲仙普賢岳大火砕流で被災した患者の
主治医となった研修医

Vol.4

看護部だより Vol.21

栄養管理室だより Vol.1

地域医療連携室からのお知らせ

長與 専齋 (1838年～1902年)

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめ採用したのも専齋である。専齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

診療科紹介

Update

Vol.6



小児科

小児科には2020年度10名のスタッフ、6名の専攻医と4名の非常勤の女性医師が勤務しています。女性医師からは、働き方に理解をしてくれる“女性に優しい病院”として高い評価を得ています。

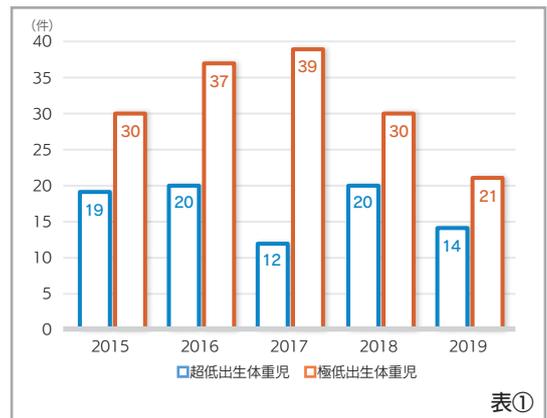
診療については、未熟児・新生児部門が8名、一般小児部門が12名で幅広い分野について対応しています。現実的には、2系統で24時間365日対応するような当番・当直体制で動いています。その中でも①未熟児・新生児領域 ②神経領域(てんかん) ③小児循環器領域 ④内分泌・代謝領域では専門医療を展開しています。

未熟児・新生児領域

長崎県総合周産期母子医療センターの一翼をにない高度専門医療を行っており、長崎県の未熟児・新生児医療をリードする役割を担っており、日々の診療に加え、若手医師の育成にも努力しています。

毎年250-300例の入院に対応していますが、そのうち超低出生体重児(1000g未満)、極低出生体重児(1500g未満)の取扱件数は表①に示す通りです。

また、緊急母体搬送には積極的に対応しています。病床の都合で他院へ搬送せざるを得ない場合がありますが、極力そのようにならないように努力を続けています。



てんかん診療について

以前より専門医療を行っていましたが、2014年度からはてんかんセンターとして指定を受けており、てんかん外科治療を希望される患者さんが全国から受診されます。難治性てんかん症例については脳外科のてんかん専門医とチーム医療を展開しています。診断・術前評価・術後評価などにはビデオモニタリング検査

(VEEG検査)が必須となりますが、小児病棟でも計画的に対応しています。最近5年間の検査件数は表②のように年間200件前後で推移しています。



小児循環器領域

2名の小児循環器専門医が診断・治療にあたっています。中でも小児の心臓カテーテル検査ができる施設として機能しています。年次推移は表③に示す通りです。

近隣地区の学校心臓健診において精査が必要となった児童の対応も毎年行っています。

複雑心奇形の赤ちゃんが出生し、早急に心臓外科対応が必要な重症例については、福岡市立こども病院や地域医療機能推進機構九州病院などと連携して診療にあたっており、最近では当院のドクターヘリによる救急搬送を行っています。



表③

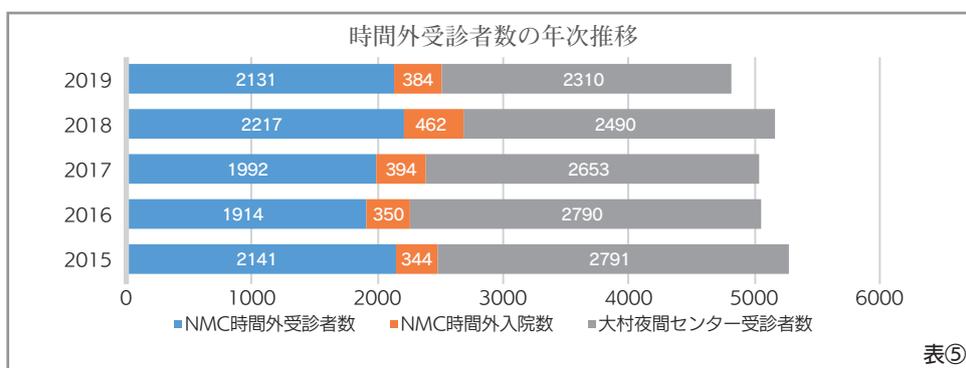
内分泌・代謝外来について

専門外来として毎週水曜日に内分泌・代謝外来（非常勤専門医）を開設し、多くの疾患について診療を行っています。中でも多くの低身長の子どもの紹介を受けており、その中から成長ホルモン分泌不全性低身長症（下垂体小人症）の診断を行い、治療を開始しています。入院によるホルモン分泌刺激試験が必要となりますが、常勤のスタッフが負荷試験を行い、専門外来診療につなげています。検査入院の年次推移は表④のとおりです。



表④

一般小児の急患対応については24時間、365日、県央地区および島原半島地区の基幹病院として対応しています。表⑤は時間外受診者数の年次推移を示しています。19時から22時の時間帯は毎日大村市夜間初期診療センターが開設されており、同時間帯の当院への受診抑制はある程度できていると思われます。しかしながら、時間外入院数についてはほぼ横ばいで350-400名程度の入院があります。これは一般小児入院総数の約1/3を占めており時間外の業務負担はあまり変わりありません。



表⑤

最後に

周辺地域の子ども達ばかりではなく、離島地区も含めたより多くの子ども達の健やかな成長のお手伝いができる事を目標に、これからも日々頑張っていきたいと思います。

糖尿病女性のプレコンセプションケアの重要性

産婦人科医長 菅 幸恵

プレコンセプションケア (Preconception care) とは

Conception (コンセプション)とは、受胎、懐妊と訳される、“新しい命を授かること”です。プレコンセプションケアは、妊娠前管理と訳され、将来の妊娠のための健康管理を提供することであり、母児の健康を短期的および長期的に改善することを目的としたものです。これまで、プレコンセプションケアに対する勧告が米国疾病予防管理センター (CDC) で2006年に、世界保健機構 (WHO) でも2013年に出されており、世界的にも重要視されてきている概念です。

なぜプレコンセプションケアが必要なのか

妊娠前からのリスクは、母体の妊娠、出産時のみならず、出産後の健康状態に影響することがあります。児にとっても、先天異常のリスクが高くなり、それが原因で人工妊娠中絶を選択されたり、早産につながったりします。さらにはその後の児の健康状態に影響することも知られています。(リスクとは、催奇形性のある感染や薬剤への暴露、肥満・やせ、糖尿病や高血圧、甲状腺疾患といった母児ともに妊娠経過影響する母体疾患など)。また、感染、薬剤、喫煙、肥満、やせなどの妊娠前からのリスクについて、広く一般の妊娠前の女性を対象にした情報提供も重要であると考えています。

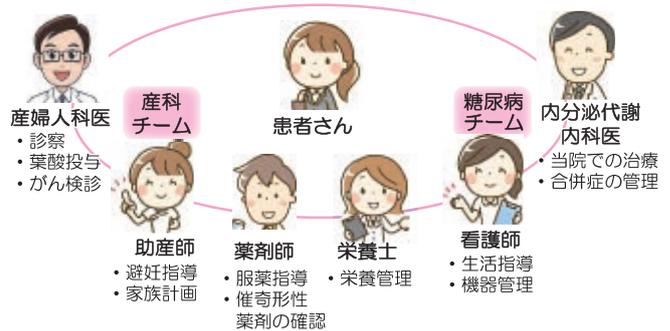
特に糖尿病合併妊娠の代表的な胎児・新生児合併症である先天奇形は、妊娠の極めて初期(受胎期)の高血糖が原因であるため、妊娠前からの血糖値の正常化を行うことでしかその予防ができません。糖尿病女性は、奇形予防のためのプレコンセプションケアが最も効果を発揮する対象です。

当院産婦人科での取り組み

当科の年間分娩数は約650例であり、その多くはハイリスク妊娠です。母体合併症としては、高血圧、甲状腺疾患、膠原病、先天性心疾患などで、妊娠前にご紹介いただくこともあります。近年力を入れているのが糖尿病のプレコンセプションケアです。

毎月、糖尿病・妊娠カンファレンスを行い、内分泌代謝内科医師、産婦人科医師、看護師、栄養士、薬剤師、助産師で連携し、情報交換を行っています。(図1) 当院でのプレコンセプションケアの効果についても評価を行っており、

プレコンセプションケア施行群では、初診週数も早く、初診時のHbA1c値は低く、葉酸投与率は有意に高いという結果でした。こうした取り組みは周産期合併症のリスクを減らし、母児の予後改善につながるものです。



- パートナーの有無により、3～6か月毎の受診
- 他施設で糖尿病の治療をおこなっている場合は、内科医とも面談を実施

図1 患者さんを中心とした職種ごとの役割、連携 (糖尿病女性のプレコンセプションケア)

糖尿病女性の健やかな妊娠・出産を目指して：プレコンセプションケア外来にご紹介ください

プレコンセプションケアの重要性について広く知っていただくために、1型および2型糖尿病女性を対象に、プレコンセプションケア外来を実施しています。県央地区のみならず、長崎市や佐世保市など県内各地からご紹介いただいています。プレコンセプションケア外来では、奇形予防のための血糖コントロールの重要性とその目標値、妊娠前からの葉酸サプリ摂取の意義、妊娠を前提とした薬剤の選択、網膜症や腎症など糖尿病合併症に対する助言と指導を行っています。妊娠の可能性がある方(既婚、未婚、パートナーの有無にかかわらず)が、きちんと準備をした上で、安心して妊娠出産に臨むことができるようにサポートしていきたくと考えています。

	妊娠前ケアあり	妊娠前ケアなし
症例数	13例	8例
妊娠症例	5例	8例
分娩症例	5例	5例
その他		人工妊娠中絶1例、流産1例
妊娠後産科初診週数	7週4日	9週2日
葉酸投与	11 (84%)	1 (12%)
妊娠時 HbA1c (%)	6.60%	7.30%
分娩時 HbA1c (%)	6.30%	6.30%
分娩週数	38週4日	38週3日
先天奇形	0	0
巨大児	0	LGA 3例
NICU入室	1 (新生児低血糖)	0

(岩本由衣、ほか：第43回日本女性栄養・代謝学会学術集会)

表 当院1型糖尿病患者の妊娠前ケア有無による比較
2015年1月～2019年8月(里帰り出産は除く)

明日を担う

Vol.11

当院の“明日を担う”スタッフに、
work、life、そしてvisionを語ってもらいましょう。

理学療法士

よしなが

りゅうじ

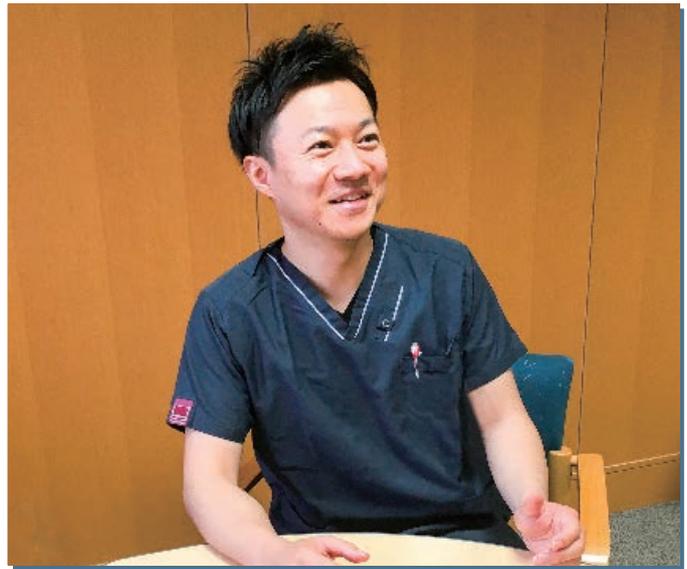
吉永 龍史

profile

出身地：北九州

職種：理学療法士

好きな本：金持ち父さん貧乏父さん



Q：理学療法士を目指したきっかけは何ですか。

A：中学生の時に老人ホームでボランティア活動をしたことがきっかけで、高齢者のやさしさにふれ、何か役に立てるような仕事に就きたいと思いました。高校生の時に担任の先生から理学療法士の仕事を紹介され調べていくうちに、自分に向いている職業だと思い、目指すことにしました。

Q：NHOに入職したきっかけは？

A：専門学校を卒業後、広島県の整形外科クリニックに入職したのですが、もっと勉強したいと思い、広島大学大学院の修士課程に進学しました。修了後もう一度臨床に戻りたかったことと、NHOであればグループ内の多様な病院で様々なことを学べるのが魅力的で入職しました。最初は国立病院機構宮崎東病院に配属されたのですが、そこで呼吸リハビリテーションに興味をもち、呼吸療法認定士等の資格を取得しました。研究にもかかわりたかったので、長崎への転勤を機に、長崎大学大学院の博士課程に進みました。

Q：理学療法士としてどのような仕事をしていますか。

A：リハビリテーション科は、運動器、脳血管障害をはじめ、低出生体重児、小児、がん、呼吸、心臓リハビリテーション等様々な分野があります。私は

主に、当院の高度救命救急センターで、呼吸ケアサポートチームの一員として、人工呼吸器を装着した重症患者さんの早期リハビリテーションに取り組んでいます。

Q：理学療法士として大事にしていることはなんですか。

A：日本の最新のガイドラインやエビデンスに基づく科学的な理学療法を実践することです。自分の専門領域の学会にはできるだけ参加して、最新の動向や理学療法の傾向などを学び、日常業務にいかせるようにと心がけています。

Q：今後の目標を教えてください。

A：3年後に大学院を卒業して医学博士を取得することです。今年の目標は、内部障害系専門理学療法士と日本循環器学会の心不全療養指導士を取得することです。英語論文も1本作成できたらと思います。

Q：当院スタッフへのメッセージをお願いします。

A：病棟の看護師さんや助手さんに大変お世話になっています。リハビリ患者さんの送迎では、ご多忙の中リハビリ室まで連れてきていただけるため、充実したリハビリが実施できています。

聞き手：難治性疾患研究部長 小森 敦正

2020年度 JNPの概要と活動状況

JNP 本田 和也

当院のnurse practitioners(国立病院機構では、JNP: japanese nurse practitionerと呼称)は、今年度4名(脳神経外科2名、小児科/新生児集中治療室: NICU 1名、臨床研修中1名)で活動いたします(写真1)。2014年から活動を開始し、7年目になりました。JNPとは、わかりやすく説明すると、careとcureの融合による高度な看護学の知識・技術を駆使して治療・療養過程の全般を管理・実践することが出来る「高度実践看護師」です。厚生労働省の定める「特定行為」も補助的に活用しながら、患者にとってタイムリーな医療の提供を心がけております。また、臨床だけでなく、看護師教育(写真2)や臨床研究/学術集会の企画・運営など学術活動(写真3)にも力を入れています。当院JNPの特徴的な役割としては、①医師不在時の急変時初期対応や患者の全身管理、処置ができること(たとえば21区分38行為の特定行為の実施が可能等)、②個々の患者に対する情報・診療方針を医師と共有し、その指示のもとに各種検査のオーダー等が可能であること(当院では電子カルテ上で医師の承認を条件としている)、③他診療科へのコンサルテーションや多職種との連携によりチーム医療の中核的役割が担え

新しいメンバーの紹介

JNP 津野崎 絹代

大学院卒業後より研修期間を含め5年間勤務し、2019年度は長崎県対馬病院で1年間勤務いたしました。本年度より当院に復職し、小児科(新生児集中治療室: NICU)で主に活動させていただきます。NICUは特殊な環境であると共に、出生と同時にお子さんが入院になることが殆どであり母子分離の環境となります。出生と共にNICUに入院予定



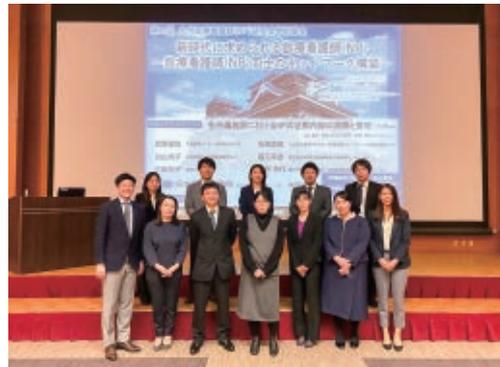
(写真1)左から、伊藤、津野崎、中原、本田

ること、④長崎県病院企業団の運営する離島等医療連携ヘリ事業(Remote island medical co-operation air service: RIMCAS)のヘリコプターや民間航空機を利用した転院搬送時の調整・患者と同乗し直接的ケアを提供する権限も与えられていること、⑤各診療科における診療データベースの構築、臨床研究等があります。このような役割を担いながら、配属先の診療科における診療・看護の質維持、向上を図っています。まだまだ我々の力不足もあり、患者および医療従事者、地域の皆様に十分貢献できていないこと多くあるかと思いますが、引き続きフレッシュな気持ちで、皆様に笑顔にできるよう精進してまいりますので何卒ご指導お願い申し上げます。

の方に対しては事前訪問やお子さんの入院中の関わりを通し、不安の軽減ができるよう努めてまいります。また、NICU退院後のお子さんは様々な医療的ケアを要する事も多く、多職種と連携しながら退院に向けた支援や退院後も継続した支援ができる環境の調整にも携わっていきたくと考えております。小児科領域の経験はまだ浅く、皆様にご迷惑をおかけする事も多いと思いますが、よろしくお願いたします。



(写真2)救急外来に携わる看護師を対象にした学習会の様子。



(写真3)第4回九州診療看護師(NP)研究会学術集会の様子。(熊本医療センターにて)当院JNPが会長・事務局として会の運営をしています。

雲仙普賢岳大火砕流で
被災した患者の主治医となった研修医

国立病院機構長崎医療センター

副院長 八橋弘



Vol.4 あとがき

夫の亡骸を送り出す朝、おりからの雨もあがり、病院は朝もやに包まれていた。国立長崎中央病院の医師の方たちは、幾晩も寝ていない疲労と虚脱感を抱えながら私たちを見送ってくれた。「あんなに生きようとしていたのに、矢内さんを助けることができませんでした」「申しわけありませんでした。無力でした」目を赤くして、泣きながら言ってくれました。今でも私は、あの人の最後の姿を鮮やかに思い出す。肺からの吐血が真っ赤に喉や胸を染め、5人の若い医師たちが必死に心臓マッサージを施していた。夫の体がベッドの上で大きくしなり、医師たちの汗がポタポタと夫の広い胸にしたたり落ちていた。「奥さん、どうぞそばに行ってあげてください」それから間もなく、闘い続けた夫の心臓はついに停止した。けっして医師たちの力が足りなかったわけではない。必死に夫を助けようとしてくださった温かい心に、どれだけ私励まされたことか。いつの日か元気を取り戻したら、お礼に伺いたいと思っている。

-----この本の最後は、このような言葉で締めくくられている。-----

これから生きていく私は、今のこの場所から生きていかなければならない。父の面影も知らずに育つ娘の美春とともに、夢を持って明るく、そして強く、前を向いて、ゆっくりでもいいから進んでいこうと思っている。それこそ、あの人が望んでいることだろうから。あの人が逝ってから四か月がたった。

1991年10月、矢内真由美

「なぜ、雲仙で死んだの。一夫31歳、カメラマン 火砕流に呑まれたあなたに捧げる鎮魂歌(レクイエム)」矢内真由美著から引用。

その後、矢内真由美さんが、NHK「きょうの料理」や受賞映画のプロデューサーなどを歴任され、講演活動など全国的にも活躍されて、その時の決意どおりに娘さんと強く生きてこられたことがわかった。

この雲仙普賢岳大火砕流で被災した患者の主治医となった研修医とは、現在NHO東京医療センター総合診療科で活躍されている尾藤誠司先生である。現在、彼の総合診療医としての考えは、活字となりマスコミにも取り上げられ全国的にも知られるようになった。彼の履歴にはこのように記載されている。「1990年、岐阜大学医学部卒。国立長崎中央病院、国立佐渡療養所などを経て、95～97年、米UCLA公衆衛生大学院・一般内科に学び、97年から東京医療センター総合内科に勤務。04～07年に国立病院機構本部の臨床研究推進室長。現在NHO東京医療センター臨床研修科医長」

雲仙普賢岳大噴火から、もう少しで30年になる。この間に、“一人でも多くの命を助けよう”という理念のもとに災害派遣医療チーム、日本DMATが発足した。長崎県でもドクターヘリは定着し、医療レベルも救急体制も大きく進歩した。しかし、月日がたっても変わらないのは、患者とその家族と医療従事者との間の信頼関係だと思っている。

看護部だより Vol. 21

がん放射線療法看護認定看護師としての活動

がん放射線療法看護認定看護師 大石 景子

当院は平成17年1月から県央地区の「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けています。平成26年10月には院内に「県央がんセンター」を開設し、患者さんや地域の方々へがんに関する情報の提供や相談窓口を設置し、がん相談対応が行われています。

私はがん看護専従看護師として平成27年に県央がんセンターへ配置となり、さまざまながん患者さんとの出会いがありました。がん対策基本法の制定以降、がん診療は目覚ましい進歩を遂げています。多くの薬が開発され治療の選択肢の幅も広がっている中、放射線治療も例外ではありません。重粒子線治療、陽子線治療、ホウ素中性子補足療法、リニアックでもサイバーナイフやIMRT、増感剤を使用する特殊な治療や温熱療法など治療方法も多岐にわたり、患者さんの希望する治療選択のために、微力ながらも患者さんの意思決定のお役に立てるよう、放射線治療についてもタイムリーな情報収集に努めながら日々活動しています。

放射線治療を受ける患者さんが抱える治療への疑問や不安が解消できるよう面談を行ったり、患者さんや病棟看護師からの放射線治療による副作用症状への相談対応や、重症化した放射線皮膚炎への介入、予防的スキンケアの指導などを重点的に行い、放射線治療室のスタッフや病棟看護師と情報交換しながら放射線治療中の患者さんの苦痛に寄り添った看護ができるよう心がけています。

放射線治療に関してお困りの時は是非ご相談ください。

【放射線治療紹介時の様子】



【県央がんセンター相談窓口】



栄養管理室だより Vol.1

主任管理栄養士 近藤 高弘

皆さんは『えいようし』に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？おそらくあまり知られていない存在なのでピンとこないかもしれません。当院の栄養管理室に関してこれから紹介させていただきますが、この記事を読んでもいただく頃にはイメージは変化し、少しだけえいようしという存在を知っていただけたらと思います。

まずはスタッフ紹介をいたします。栄養管理室長を大黒柱とした総勢9名の管理栄養士の出身地は様々で、地元大村をはじめ県外各地から集結しています。えいようしさんといえば多くの方が女性を思い浮かべるとは思いますが当院には3名の男性が在籍し、まだまだ少数ではあるものの看護師さん同様に今は男女の仕事となりつつあります。

次に業務内容の紹介です。えいようしの業務というのを思い浮かべられるでしょうか？患者さんの食事を作っている人というイメージが大きいのではないのでしょうか。確かに食事の提供を担う部門ではありますが、実はそれ以外の業務がメインとなります。業務内容は大きく2つに分けられており、臨床栄養管理（患者さん個別の栄養管理）と



チーム医療（栄養サポート）



給食管理（食事提供に関わるもの）です。当院では献立作成以外の給食管理業務（例：発注、検品、調理、配膳、食器洗浄など）は委託しており、富士産業株式会社の管理栄養士、栄養士、調理師、調理員、食器洗浄員の方々の協力を得て食事提供を行っています。このため、業務の中心は臨床栄養管理です。入院した全ての患者さんの栄養状態を評価し、必要に応じて栄養の指導や相談、各医療チーム（栄養サポート、緩和ケア、呼吸サポート、褥瘡など）の一員として栄養状態の維持、改善の一助となるよう努めることが私たちの仕事になります。

管理栄養士と栄養士は何が違うの？調理師と調理員の違いは？と疑問に思われた方は、お声がけしていただくか、もちろんネットで調べることができますので是非検索してみてください。今回紹介できたのは栄養管理室に関する一部分ではありますが、この記事を読んで『えいようし』のイメージが変化したという方がいらっしゃるのではないのでしょうか。院内スタッフおよび他医療施設の方々、また患者さんに少しでも当院のえいようしを知っていただけましたら幸いです。

地域医療連携室からのお知らせ

時間外選定療養費のお知らせ

入院治療を必要としないなどの軽症の患者さんが診療時間外に受診される場合、

診療費とは別に、時間外選定療養費として、6,600円をご負担いただきます。

当院は高度救命救急センターを有する三次救急医療機関です。しかし、緊急度の低い患者さんが時間外に多数受診されているため、重症な患者さんへの対応に支障を来しています。安全で質の高い医療を継続的に提供するため、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

時間外選定療養費	6,600円（税込）
対象日（時間）	平日（17:00～翌8:30） 土・日・祝日・年末年始（終日）

以下の方は、時間外選定療養費が免除となります

- 救急外来を受診するために他の医療機関等から紹介状がある方
- 入院治療が必要な方（受診後、そのまま入院となった方）
- 緊急処置等（縫合処置、吸入等）を要した方
- あらかじめ、当院医師より、注射・処置等のため救急外来を受診するように指示された方（当院受診中の患者さんに限る）
- 当院受診中の妊婦・産褥婦であって、産婦人科にて診療を受けた方
- 15歳未満の方

時間外診療機関のご案内

診療機関	大村市夜間初期診療センター
診療科	内科・小児科
診療時間	19:00～22:00（毎日）
診療場所	大村市こどもセンター内 （大村市本町413-2）
TEL	0957-54-9911

※休日については、休日当番医もごございます。
詳しくは、新聞・大村市ホームページ等にてご確認ください。

子どもが急な病気になったら…



小児救急電話相談センター（長崎県）

- TEL #8000
（ダイヤル 095-822-3308）
- 時間 19:00～翌8:00（毎日）

※おおむね15歳未満の方の保護者を対象に、看護師・保健師が電話相談に対応します
（必要に応じて小児科医）

ご不明な点がございましたら、平日時間内(8:30～17:00)に
長崎医療センター経営企画室（TEL:0957-52-3121）までお問い合わせください。

理念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実にを行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 絶対には断らない救急医療の最後の砦となる気概を持つ
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する